

Googleのサービス利用  
及び  
個人情報の取扱い等について

## Google は学校のデータを安全に保護します

学校のデータは学校が所有するものですが、そのデータを安全に保護する責任は Google にあります。Google は、安全なサーバーとプラットフォームサービスを独自に構築、運営しており、学校の管理者がデータの安全性を簡単に監視、管理できるようにしています。

## Google は業界の規制およびベストプラクティスへの準拠をサポートします

Google の各サービスは、プライバシーおよびセキュリティ要件への準拠をサポートしています。独立した組織が行った Google サービスの監査により、Google のデータ保護体制は厳格な基準を満たしていることが確認されています。

※ベストプラクティス・・・仕事を行うために最も良い効率的な方法のこと

Google  
4つの安心

## G Suite for Education のコアサービスには広告が一切表示されません

G Suite for Education のコアサービスには広告が表示されず、生徒の個人情報が広告の配信や広告プロファイルの作成のために使用されることもありません。

## Google はプライバシーとセキュリティに関するポリシーを明示しています

Google は、データ収集のポリシーと実施方法の透明性を確保するよう努めています。「G Suite for Education のプライバシーに関するお知らせ」と「G Suite 契約」では、データ保護に対する Google の契約上の義務について説明しています。

### 1 G Suite for Educationのコアサービスはどのようなものですか。

G Suite for Educationのコアサービスは、Google が学校向けに提供している教育サービスの中核を成すものです。このコアサービスには Gmail と Inbox by Gmail、カレンダー、Classroom、Jamboard、コンタクト、ドライブ、ドキュメント、フォーム、グループ、スプレッドシート、サイト、スライド、トークとハンガアウト、Vault が含まれており、これらのサービスは G Suite for Education 契約のもとに提供されています。G Suite for Education のコアサービスには広告が一切表示されず、サービス内のデータが広告目的で使用されることもありません。

世界中のほぼすべての国の1.2億人以上にのぼる生徒や教師、管理者が、学習と共同作業に G Suite for Education を利用しています。Google は、生徒を含むこれらすべてのユーザーのプライバシーとセキュリティの保護に全力で取り組んでいます。

### 2 学校や生徒のデータはGoogleが所有しますか。

いいえ。Google は G Suite for Education のコアサービスにおけるお客様のいずれのデータについても所有権を持ちません。これは、G Suite for Education 契約（「知的所有権」の項）にも明記されています。Google は、管理者の方向けに使いやすい充実した管理ツールとダッシュボードを用意しており、組織で使用するサービス、サービスの使用状況、データの管理にこれらをお役立ていただけます。なお、お客様の個人情報、お客様のご要望の期間のみ保持されます。教育部門、学校、大学で Google の利用を停止される場合は、簡単にデータを移行していただけます。

### 3 Googleが学校や生徒のデータを第三者に売却することはありませんか。

いいえ。Google が G Suite for Education のデータを第三者に売却したり、システムに保存された個人情報を第三者と共有したりすることはありません。ただし、お客様から共有の依頼を受けた場合や、法律により共有する義務がある場合などの例外的な状況は除きます。

### 4 G Suite for Education には広告が表示されますか。

いいえ。G Suite for Education のコアサービスには広告が表示されません。ただし、G Suite for Education のコアサービス以外の追加サービスには広告が表示される場合があります。なお、小学校及び中学校の G Suite for Education ユーザーについては、個人情報（および Google アカウントに関連付けられているすべての情報）が広告を表示する目的で使用されることはありません。

## 5 Googleはどのようにして、データを安全に保護していますか。

Google はユーザーデータのプライバシーとセキュリティを非常に重視しており、ユーザーと学校をデータ侵害から守ることに全力を尽くしています。Google のシステムは業界でも最高レベルの安全性を誇ります。また、Google はお客様のデータにアクセスしようとする違法な試みに対して断固として対抗します。Google のデータセンターでは、独自の堅牢なオペレーティングシステムとファイルシステムを搭載したカスタムハードウェアを使用しています。これらのシステムはすべて、高いセキュリティとパフォーマンスが得られるよう最適化されています。また、こうしたハードウェアのすべてを自社で管理しているため、あらゆる脅威や脆弱性に迅速に対応することができます。Gmail（および添付ファイル）やドライブのデータは暗号化されたうえで転送されるため、ユーザーと Google のサーバーとの間だけでなく、Google のデータセンター間での転送時もメールの安全が確保されます。

## 6 Google のセキュリティ対策はどの第三者機関の審査を受けていますか？

Google では、独立監査法人にデータ保護体制の審査を依頼しており、Ernst & Young によって、G Suite におけるデータの取り扱い方と契約責任が ISO/IEC 27018:2014 に準拠していることが確認されています。また、G Suite と Google のデータセンターも、SSAE 16 / ISAE 3402 Type II SOC 2 / SOC 3 の監査を受け、ISO 27001 認証を取得しています。

## 7 Google は「Student Privacy Pledge」 (生徒のプライバシーに関する誓約) に署名していますか？

はい。Google は、学校に対してお約束している方針を守ることを確約するために「Student Privacy Pledge」に署名しています。この誓約は、FPF (Future of Privacy Forum: プライバシーの未来フォーラム) と SIIA (Software & Information Industry Association: 米国ソフトウェアおよび情報産業協会) が提唱するもので、これに署名することは、学校向けのサービスにおいて生徒の個人情報を保護するという Google の姿勢を示しています。

## 8 Google はユーザーデータを暗号化していますか？

はい、データは複数のレベルで暗号化されます。Google では、ユーザーと G Suite サービスとの間で行われるすべての送受信に対して HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) を適用し、G Suite のすべてのサービスで前方秘匿性 (PFS) の技術を使用しています。また、外部メールサーバーとの間のメール送受信は 256 ビット TLS (Transport Layer Security) で暗号化し、検証と鍵交換のフェーズでは 2048 RSA 暗号化鍵を使用しています。これにより、同じく TLS を使用している社外ユーザーとの間でメールの送受信を行う際に、メール通信が保護されます。

これらの内容は、Google のプライバシーとセキュリティの一部であり、詳しくは、G Suite for Education 利用規約をご覧ください。 [https://workspace.google.co.jp/intl/ja/terms/education\\_terms\\_japan.html](https://workspace.google.co.jp/intl/ja/terms/education_terms_japan.html)